

ひょうご 県知協 NEWS

〈兵庫県知的障害者施設協会機関紙〉

発行

兵庫県知的障害者施設協会

〒650-0062

神戸市中央区坂口通 2 丁目 1-1

兵庫県福祉センター5階 502 号室

TEL (078) 862-6026

FAX (078) 862-6082

E-mail: hyogo-kenchikyo@dance.ocn.ne.jp

発行責任者 蓬 萊 和 裕

印刷所 交友印刷株式会社

平成 23 年 1 月 27 日 (木)・28 日 (金) の二日間にわたり、神戸市中央区の神戸ポートピアホテルにおいて「第 10 回生活支援部会全国大会」が、北は北海道から南は沖縄までの全国から 442 名の参加者が集い、盛大に開催されました。本号では、その報告を通して入所施設の直面する課題に触れていただきたく巻頭の文章といたしました。

入所施設における生活支援プログラムスタンダードの確立

～施設に求められる将来像～

前 入所施設部会長 松 葉 登志弘

現在、国にあっては「障がい者総合福祉法（仮称）」の検討が進められている中、既存の知的障害者入所施設においては、利用者の重度化・高齢化・重症化が進み、経常的に医療ケアを必要とされる利用者が加速的に増え、地域移行者を含め地域で生活をされている人の将来的な受け皿として今後、さらなるニーズの増大は必至であります。こうした状況を踏まえ、利用者の「安全・安心」を基本として、利用者の「尊厳、安らぎ、生きがい」を保障することが求められています。

本大会では、これからの入所施設に求められる役割とそれに応えられる機能の構築について議論を進めることを目的に、大会テーマを「入所施設における生活支援プログラムスタンダードの確立」とし、サブテーマを「施設に求められる将来像」として開催しました。

初日の講演では、社会福祉法人南山城学園理事長の磯彰格氏（医学博士）から「これからの施設経営に求められるもの」という演題で、これまでの法人運営と福祉は人・人・人であるという人材育成まで幅広くご講演をいただきました。

二日目は、大会テーマに即し、パネルディスカッションが開催されました。パネラーとして、道躰正成氏（厚労省・障害福祉課課長補佐／行政の立場から）、菊地達美氏（栃木県・那須共育学園／知的入所施設の立場から）、真辺一範氏（京都府・特別養護老人ホーム嵐山寮／特別養護老人ホームの立場から）、大久保常明氏（全日本手をつなぐ育成会／家族の立場から）、コメンテーターとして里見吉英氏（日本知的障害者福祉協会政策委員）、コーディネーターに瀬野淳一氏（日本知的障害者福祉協会生活支援部会部会長）の方々、前半は措置制度から契約制度への変更そして現在の推進会議における論議に至る経過と状況について、後半は今後の入所支援のあり方と社会福祉法人の果たすべき役割と機能について、それぞれの立場から議論いただきました。

今回の全国大会で論議された利用者の重度化・高齢化・重症化への対応については、これからも入所施設の最重要課題の一つであり、兵庫県知的障害者施設協会入所施設部会としても重度・高齢利用者の生活介護サービスを充実するため、職員の支援技術の向上等の取り組みを行なっていく必要があると考えています。

～新体系移行アンケートの集計結果から～

兵庫県知協では、自立支援法における旧法施設から新体系事業移行のタイムリミットが近づく中、会員施設の移行状況や課題等を把握するべく、平成22年の暮れから年明けにかけてアンケート調査を実施いたしました。ここではその取りまとめ結果と考察について記します。

今回の調査については、新体系移行の経過措置最終年に向けての取り組みとして実施しましたが、経過措置における食事提供の加算、サービス管理責任者の資格要件の問題、障害程度区分の問題など他の内容も含めて、全国の組織とも足並みを揃えて進めていきたいと思えます。

<集計結果>

1. 配布数	170施設・事業所
2. 回収数	170施設・事業所（回収率100%）
3. 移行非該当施設数	20施設・事業所（児入・児通）
4. 移行該当施設数	150施設・事業所
5. 移行済施設数	87施設・事業所（移行率 58.0%）
6. 未移行施設数	63施設・事業所
7. 未移行で移行予定のある施設数	61施設・事業所（移行予定率 96.8%）
8. 未移行で移行しない、あるいは移行できない為、移行予定のない施設	2施設・事業所（移行予定がない率 3.2%）

<まとめ>

本調査の段階では移行該当施設 150 施設の内 87 施設がすでに移行しています（移行率 58.0%）。23年4月に移行予定の施設が23施設となっており、この文書が皆様のお手元に届く時には移行済み施設が110施設となっていると思えます（移行率 73.3%）。

23年4月1日段階では入所等生活施設系の移行率は79.0%、通所系は68.6%と通所施設の移行が進んでいない状況です。

移行後の課題については施設間のばらつきはあったものの、表1のようになりました。「6. その他」では減算の問題、事務処理の煩雑さの問題、看護師の配置の困難さや就労B型ではB型の制度設計における将来展望の不明確さ、自立訓練等利用期間のある事業では期間終了後の利用者の移行先がありました。入所系は日中活動の内容や地域移行が課題としてあがっていました。

1. 障害程度区分と事業体系の整合性	51
2. 職員配置基準の問題	53
3. 移行の際の事務手続き等の煩雑化	52
4. 施設機能や建物基準の問題	15
5. 報酬増減の問題	53
6. その他	11

表1 移行後の課題



移行できない理由については 2. 職員配置基準の問題がありました。意見としては、報酬単価により現在の職員配置を確保できない問題や、看護師の配置の難しさなどがあげられます。報酬単価については障害程度区分の問題も影響しているようです。



1. 障害程度区分と事業体系の整合性	
2. 職員配置基準の問題	7
3. 移行の際の事務手続き等の煩雑化	2
4. 施設機能や建物基準の問題	1
5. 利用者の希望・意向による	1
6. 検討材料が不足している	1
7. 具体的なイメージがわからない	
8. 他施設の移行の様子をみたい	1
9. 旧体系でぎりぎりまで様子をみたい	2
10. 報酬の増減がよめない	
11. 新法に間もなく移行されるので移行しない	
12. その他	1

表 2. 移行できない理由

平成 23 年度 兵庫県知的障害者施設協会 地区別・種別ごとの会員施設数一覧

平成 23 年 6 月末現在

施設種別	地区別			三地区合計
	神戸	阪丹但	播淡	
公設公営	7	2	9	18
公設民営	5	4	8	17
民設民営	27	53	57	137
各地区 計	39	59	74	172
《旧法施設》	14	18	32	64
1. 児童通園	4	4	3	11
2. 児童入所	3	4	3	10
3. 通所更生	0	0	6	6
4. 入所更生	1	2	6	9
5. 通所授産	6	5	11	22
6. 入所授産	0	2	0	2
7. 通 勤 寮	0	0	2	2
8. 重 心	0	1	1	2
《新体系事業所》	25	41	42	108
9. 多機能型	7 (うち施設入所支援2)	24 (うち施設入所支援4)	23 (うち施設入所支援8)	54
12. 就労 B 型	2	2	0	4
14. 生活介護	15 (うち施設入所支援10)	15 (うち施設入所支援10)	19 (うち施設入所支援17)	49
15. 児童デイ	0	0	0	0
17. 就労移行	1	0	0	1
各地区 計	39	59	74	172
非会員事業所 (会費納入なし)	3	15	16	34
CH・GH	2	8	8	18
訪問系	1	2	1	4
相談支援	0	3	5	8
地域活動支援	0	1	0	1
就労 B 型	0	0	1	1
生活介護	0	0	1	1
児童デイ	0	1	0	1
総 合 計	42	74	90	206


阪丹但地区の報告

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による被害状況を報道等で確認する度に心を痛めておる次第です。被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、兵庫県知的障害者施設協会と連携を図り、微力ではございますが協力させて頂く所存です。

さて、阪丹但地区ですが、2010年度は補助金事業の活用により様々な研修会を開催させて頂きました。「管理職・中堅職員」、「支援員」、「事務職員」、「給食関係職員」と大きく4つの職種別カテゴリーにし、どの研修会も関心のある方は参加しやすい状況を作りました。内容に関しましては、「決算書」、「てんかん」、「ダウン症」、「就労支援」、「発達障害・感覚統合」、「感染症」、「権利擁護」、「会計」、「食中毒」、「自閉症」、「個別支援計画」、「苦情解決」と多岐に亘り全12回の研修会となり、延べ参加者数も575名となりました。その中からのひとつを紹介させて頂きます。

「当事者から…そして体験を通して学ぶ“困ったカラダ”ふざけてるわけじゃないのに」と題され平成22年9月12日に実施された研修会では、姫路独協大学の太田先生と発達障害当事者の笹森さんの多大なるご協力とご理解があり、実現する運びとなりました。

この研修会では、設定された課題を笹森さんが実演し、日々の生活の中でどのように不具合を感じておられるかを太田先生が解説、そして研修参加者にも疑似体験を通して理解を深めることができました。このような研修の方式は、今までに類を見ない形態であったとお聞きしております。参加者の研修会後のアンケート調査を見ましても前向きなご意見以外は何えないような素晴らしい結果となりました。阪丹但地区の各施設へは、既にお手元に届いていると思いますが、今回の研修会の内容を冊子にしました。皆様の日々の支援にご活用頂ければと思っております。

2011年度も昨年度と同様に「潜在的有資格者等養成事業（キャリアアップ研修事業）」、「複数事業所連携事業」等の補助金事業を活用していく方向で、様々な研修会を計画しております。また近年は研修事業が主軸となっておりますので、交流を踏まえた一泊研修会も予定しており、阪丹但地区の職種間ネットワークの一端を担えればと考えております。


神戸地区の報告

2期4年を終えるに当たりまして、定例施設長会においては毎回、全員に近いご出席を戴きましたこと、役員各位、各施設長方のご協力を戴く中で本年度事業を進めることが出来ましたこと、厚くお礼申し上げます。

年度当初に、すま障害者地域生活支援センターの方から連盟を脱退したい旨の連絡がありましたので報告をさせて頂きます。連盟は「ひょうご」と「きた」障害者地域生活支援センターを含め、神戸市内43施設の構成で成り立ち、兵庫県知協をはじめ、大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、の近畿6地区、北海道から沖縄に到るまでの地方会そして日本知的障害者福祉協会を通じて厚生労働省、全社協との関係調整を保ちながら組織され、知的障害者関係施設の運動団体として全国に展開されています。

障害者自立支援法の見直しがされている中、新体系への移行に伴う、施設事業所別における組織の再編が必要となり検討されています。連動して、本連盟も組織の再編について論議がされていますが、全国的な課題だけに充分時間をかける必要があります。中央の動きを注視しています。県知協は事務局を県社協・新社屋に移し、新年度から一般社団法人格の手続きを行う予定となっています。地方分権が進み民間の役割が益々広

がり自治体からの委託事業も年々増え総事業費も嵩み公益的な事業体としての位置付けが大切になり、時代の流れに沿った対応ともいえます。

施設長会には毎回、神戸市保健福祉局自立支援課から中央情勢、特に、障害者制度改革推進会議の様子についてその後の動向をお伝え戴く様に努めてまいりました。9月に神戸市予算要望事項を提出、今年の2月に回答があり、3月の施設長会にも説明を戴いています。会議の中で『施設支援業務は24時間体制の中で多くの障害特性を持った知的障害者の支援、介護をしなければならず、常にリスクが発生しやすい状況にありますので、引き続き職員配置、施設整備に配慮願いたい。』旨の意見を申し述べました。

市社協・施設部会において、民間社会福祉施設職員退職手当共済事業運営において引き続きその資産運用のあり方検討が行われ、金融庁の指導に沿った新しい仕組みで運営が展開されるものと思います。各種研修会にて社会福祉法人の新会計基準が平成24年から導入されることについても説明会が持たれ福祉事業の変化を感じていると思います。

各施設の課題についても協議し対応できるように図る一方、事業計画に従い、関係機関との協調を図って障害者の生活支援施策の推進に努めて参りました。

通所部会において本連盟のホームページの活用状況については約2592回ほどのアクセスがされています。今年度は施設利用空席状況が閲覧できるよう入力して戴きました。毎月、空席状況が更新され、さらに新しい情報の提供が出来れば良いのではないかと考えています。各施設におきまして登録内容の変更がありましたら是非、事務局に連絡戴き常に新しい情報を書き加えて戴きますようお願いする次第です。特別支援学校の進路調整については自立支援課、学校、家庭の意向をくみ取り協力して参りました。

調査研究部会では、最近、各施設にショートステイの依頼の問い合わせが増し、自立支援課とも話し合いをしたところでした。

職員部会については、部会長から報告して頂きますが各施設での忙しい業務の中において感染予防対策研修会や栄養士、看護師の面々を中心にした研修会を積極的に実施、連盟施設職員間の交流が図られ業務の改善にも一役されたのではないかと思う次第です。今年度は、触法行為をし、刑期を終えた知的障害者達の生活支援の協力体制について関係機関を通じて何回か研修会の形で話し合いが進められました。

施設整備が進まない一方、新しい社会問題への対応に苦慮しますが、引き続き課題と向き合いながらのご報告とします。

播淡地区の報告



播淡地区では4つの委員会を組織し、スポーツ委員会は「ばんたん親善運動会」を実施、研修委員会は2回の研修会、研究委員会は一泊研修、文化委員会は「ばんたんゆうあい文化祭」を実施しています。平成22年度後半の事業としては、研修委員会が11月に第2回の研修会を開催、「現場職員の立場で考えたいこと」をテーマに、美作大学の石飛先生に福祉の制度や現状について難しい話をわかりやすくお話していただきました。午後には親の立場を代表する岩本氏、施設運営の立場から山口氏の二人を交えて理想と現実、本音の部分をしっかり伝えていただきました。その後のグループ討議では、日頃の思いや情報交換をする等とても有意義な一日となりました。

文化委員会は12月2日に「ばんたんゆうあい文化祭」を実施、17施設の演技と20施設の見学で850名余りが姫路市文化センターに集い、歌あり、踊りや寸劇もあり、舞台と観客席が一体となるような楽しいひとときを過ごしました。

その他、複数事業所連携事業の補助金を受けて企業向けの研修を取り入れ、中堅職員・管理者を対象に

12月13・14日にクレーム・交渉セミナー、1月24・25日にディベート研修を実施しました。クレームは貴重な情報源であり、その対応がその後の施設運営を左右すること、コミュニケーションはその内容よりも態度や話し方が結果につながること等、演習をしながら身をもって感じることができました。またディベート研修では、「ほめること」と「叱ること」の技術、論理思考をもとに協調的交渉のためのコミュニケーション技術をわかりやすく教えていただきました。

最後になりましたが、3月11日に東日本を襲った大地震と津波、さらには原発事故、情報すら発信できない惨状に言葉ありませんが、被災地支援に向けて心をひとつにしたいと思います。

東日本大震災で県知協が取り組んだこと

平成23年3月11日午後2時46分18秒にM9.0もの巨大地震が東北地方太平洋沖に発生してから、沿岸部を奥深く襲った津波による壊滅的な破壊の爪痕や福島原発からの放射能漏れ被災による生活破壊の状況をつぶさに目にしてきました。阪神・淡路大震災を被災範囲や被害規模においてはるかに凌ぐこの災害に対して、東北の方々へ思いを馳せながら、県知協は兵庫県や県社協、また日本福祉協会と連携を取ってでき得る支援を探って参りました。

その支援の柱は、大きく分けて義援金募金への協力と、宮城県知福協の現地災害支援本部体制づくりの応援の2つでした。以下に、そのあらましをお伝えいたします。

(1) 義援金募金への協力

3月15日付の日本福祉協会からの協力依頼を受け、県下の会員施設・事業所に呼びかけて寄せられた義援金(計6,074,019円)を3回に分けて日本福祉協会あて送金を完了しました。

内 訳	第1次送金(平成23年4月14日)	4,705,256円	うち県知協 1,000,000円
	第2次送金(平成23年5月24日)	1,119,261円	
	第3次送金(平成23年6月23日)	249,502円	

(2) 宮城県知福協支援本部応援

4月4日から5月22日までの49日のうち、実質47日間、蓬萊会長と高野部会長を含む10名の県知協会員施設職員が延べ102日にわたって現地入りして災害支援本部の体制づくりを支援しました。

かけがえのない人を奪われ、築き上げてきた生活の糧を喪失した無念さを心に刻みながらも、新たな人との絆により、現地の力が先ずは復旧から、更には復興に向けて動き出すことを願っています。

触法障害者地域移行支援事業(兵庫県委託事業)終了する!!

2カ年にわたって検討委員会やワーキングチームの会合を重ね、テーマに即したアンケート調査や研究、研修会とヒアリングの実施、またフォーラム企画による啓蒙活動などに取り組んで参りました。1年度目の実績報告では支援の枠組みとなるシステム案を提示し、2年度目は福祉サービス提供側の具体的な受け入れマニュアルと支援プログラムづくりの手引となる冊子を作成いたしました。年度報告書と合わせて近々会員の皆様のもとにお届けいたしますので、触法障害者の地域移行支援への前向きなご協力と、そのための手引の活用についてよろしく願いいたします。

なお平成23年度以降の兵庫県の触法障害者地域移行支援事業には、県下10圏域内の会員施設が受入協力推進事業所として継続的に関わることが期待されています。

《日誌抄》

10 月	6 日	平成 22 年度「福祉の集い」	神戸市	楠公会館	
	12 日	第 4 回役員会	神戸市	生田文化会館 第 3 会議室	
	13 日	第 4 回近畿更生施設分科会	大阪市	大阪知福協事務局	
	19 日	触法プロジェクト第 6 回ワーキングチーム会合	神戸市	生田文化会館 第 5 会議室	
	20 日	平成 23 年賀詞交換会打合せ会	神戸市	生田文化会館 第 5 会議室	
	22～23 日	全国障害者スポーツ大会（ゆめ半島千葉大会）	千葉県		
11 月	26 日	第 54 回兵庫県知的障害者福祉大会	高砂市	高砂市文化会館	
	28～29 日	全国会長・事務局長会議	東京都	東京浜松町會館	
11 月	4～5 日	第 8 回全国知的障害児発達支援施設運営協議会（石川大会）	石川県	ホテル金沢	
	5 日	兵庫県社会福祉大会	赤穂市	赤穂市文化会館	
	11～12 日	市知連施設長 一泊研修会	浜松市	聖隷福祉事業団他	
	18 日	第 4 回会長・副会長会	神戸市	兵庫県母子会館 2F、事務局	
	22 日	近畿地区第 3 回役員会	和歌山市	ホテルグランヴィア和歌山	
	25 日	触法プロジェクト第 7 回ワーキングチーム会合	神戸市	生田文化会館 第 5 会議室	
	26 日	触法神戸地区研修会及び第 3 回触法検討委員会	神戸市	あすてっぶ KOBE	
	12 月	6 日	第 2 回互助会運営委員会	神戸市	兵庫県社会福祉協議会
9 日		第 5 回役員会	神戸市	生田文化会館 第 3 会議室	
17 日		新兵庫県福祉センター竣工 触法プロジェクト第 8 回ワーキングチーム会合	神戸市	兵庫県福祉センター 生田文化会館 第 5 会議室	
22 日		第 5 回近畿更生施設分科会	神戸市	兵庫県印刷会館	
28 日		御用納め	神戸市	兵庫県母子会館 2F、事務局	
1 月		4 日	兵庫県新年交礼会 第 5 回会長・副会長会	神戸市	兵庫県公館 兵庫県母子会館 2F、事務局
	7 日	第 10 回生活支援部会全国大会（兵庫大会）打合せ会	神戸市	神戸ポートピアホテル	
	8 日	新兵庫県福祉センター竣工式典	神戸市	兵庫県福祉センター	
	11 日	触法プロジェクト第 9 回ワーキングチーム会合	神戸市	生田文化会館 第 5 会議室	
	14 日	平成 23 年賀詞交換会	神戸市	楠公会館	
	18 日	触法阪丹但地区研修会及び第 4 回触法検討委員会 職員部会キャリアアップ研修会	尼崎市	尼崎市すこやかプラザ 兵庫県民会館パルテホール	
	20 日	市知連新春交歓会	神戸市	楠公会館	
	21 日	兵庫県知的障害者施設協会事務局 引越し	神戸市	兵庫県福祉センター	
	27～28 日	第 10 回生活支援部会全国大会（兵庫大会）	神戸市	神戸ポートピアホテル	
	2 月	1 日	第 5 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会打合せ会	神戸市	スポーツ交流館
		3 日	第 5 回触法検討委員会及び第 10 回触法ワーキングチーム会合	神戸市	兵庫県福祉センター 201 会議室
14 日		第 5 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会エントリー説明会	神戸市	兵庫県福祉センター 多目的ホール	
16 日		触法フォーラム	神戸市	兵庫県西館	
18 日		第 6 回役員会	神戸市	生田文化会館 第 3 会議室	
21 日		兵庫県知協中堅職員研修会	尼崎市	尼崎市すこやかプラザ	
22 日		日中活動 2 部会施設長研修会	神戸市	しあわせの村 第 2 研修室	
24～25 日		第 47 回近畿地区知的障害関係施設職員研修会	滋賀県	大津プリンスホテル	
3 月	3 日	触法プロジェクト第 11 回ワーキングチーム会合	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局	
	9 日	職員部会綱引大会	明石市	明石市中央体育館	
	15 日	平成 23 年賀詞交換会報告会 第 3 回三地区意見交換会	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局 兵庫県福祉センター 201 会議室	
	17 日	近畿更生分科会 反省会&懇親会	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局	
	18 日	触法プロジェクト第 12 回ワーキングチーム会合 第 3 回互助会運営委員会	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局 兵庫県福祉センター 3 階会議室	
	23 日	近畿地区第 4 回役員会	和歌山市	ホテルグランヴィア和歌山	
	24 日	第 6 回会長・副会長会及び第 7 回役員会	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局 201 会議室	
	25 日	第 2 回知福協評議員会及び懇親会	東京都	浜松町 東京会館 39 階 チェリールーム	
4 月	1 日	年度スタート（会計）			
	8 日	触法プロジェクト第 13 回ワーキングチーム会合	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局	
	11 日	第 1 回会長・副会長会	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局	
	19 日	第 9 回全国知的障害児発達支援施設運営協議会第 1 回会合 第 2 回会長・副会長会	神戸市	兵庫県福祉センター 201 会議室 兵庫県福祉センター 事務局	
	28 日	第 3 回会長・副会長会 東日本大震災 応援派遣説明会	神戸市	兵庫県福祉センター 事務局 兵庫県福祉センター 201 会議室	
5 月	11 日	平成 23 年度協会総会	神戸市	兵庫県福祉センター 多目的ホール	
	13 日	第 5 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会事前説明会	神戸市	兵庫県福祉センター 多目的ホール	
	18 日	第 9 回全国知的障害児発達支援施設運営協議会第 2 回会合	神戸市	兵庫県福祉センター 202 会議室	
	21 日	第 5 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（卓球・水泳）	明石市・三木市	県立障害者スポーツ交流館 三木山総合公園屋内プール	
	24 日	近畿地区第 1 回役員会	和歌山市	ホテルグランヴィア和歌山	
	28 日	第 5 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（陸上・FD・ソフト・サッカー）	三木市	三木総合防災公園	
	29 日	第 5 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（ボウリング・バスケ・バレー）	明石市	スーパーボール二見 県立障害者スポーツ交流館	

● 平成 23 年度総会を終えて ●

去る 5 月 11 日（水）、兵庫県福祉センターにおいて平成 23 年度総会が開かれ、予定された議案すべての承認をいただきました。主な案件は、1）40 名の永年勤続職員への感謝状贈呈、2）昨年度の事業報告と決算、3）今期事業計画と予算、4）一般社団法人化を見越した規約改正と新定款、5）役員の一部変更人事などで、東日本大震災に対する県知協の取り組み報告や今年度中の法人化へのスケジュールを呈示する重要な総会でもありました。6 月 2 日の第 1 回役員会では、この総会を受けて法人化特別委員会と創立 50 年記念事業特別委員会の立ち上げを決定し、会費金額の改正を含む検討が 7 月より始まります。11 月終わりには臨時総会を開催し、組織改変への手順を踏むこととなりますので、ご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

なお変更人事による新たな役員の皆さんは、福田 直眞（副会長＝若狭野荘）、光岡 研士（副会長・日中活動授産部会長＝ワークホーム緑友）、板倉 和彦（入所施設部会長＝兵庫県社会福祉事業団）、中島 忠男（日中活動生活介護部会長＝武庫川すずかけ作業所）、浜谷 純一（グループホーム・ケアホーム等部会長＝ゼノの村）、福田 和臣（権利擁護委員長＝愛心園）の 6 氏です。

● 第 5 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会を終えて ●

今年のスポーツ大会は、身体・知的両障害の合同開催、開催日の分散化、競技会場の固定化の試行的大会として、5 月 21 日（土）、28 日（土）、29 日（日）の 3 日に分けて開催されました。9 種目が 8 会場に分かれて競われ、参加者も約 3500 名に及ぶ大きな大会となりました。28 日の県立三木総合防災公園陸上競技場がメイン会場で、梅雨の大降りに台風が加わるという生憎の天候にもかかわらず、全競技をやり終えることができました。県知協は例年この大会の知的障害の部の事務局を務めていますが、参加申込みの取りまとめから説明会の開催、冊子印刷の準備その他で大忙しでした。課題を整理して今後に臨みたいと思っています。なお、6 月 15 日に全国大会の選考会があり派遣選手が決定しました。今年の全国障害者スポーツ大会は 10 月 22 日（土）～ 24 日（月）開催の「おいでませ山口大会」です。

平成 23 年度「福祉の集い」

今年は、神戸メリケンパーク オリエンタルホテルで開催！

- 主催：知的障害児（者）と重症心身障害児（者）のいのちと暮らしを守る会
- 期日：平成 23 年 9 月 28 日（水）
- 内容：午前は月刊「手をつなぐ」（全日本手をつなぐ育成会機関紙）編集委員の又村 あおい氏により、「見えてきた障害者福祉制度改革の道筋（仮題）」との講演を、午後は構成団体から 3 つの事例の発表ののち、例年どおり大会宣言を採択します。8 月上旬には開催案内と申込書をお届けしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第 9 回 全国知的障害児発達支援施設運営協議会

● 今 秋 ●、神戸にて開催予定

- 期日：平成 23 年 11 月 10 日（木）～ 11 日（金）
- 会場：ANA クラウンプラザホテル神戸（新神戸）
- 内容：「こども達のよりよい育ちに向けて」をテーマに 1 日目は宮田 広善氏（ルネス花北）と高田 哲氏（神戸大学）による講義 2 題とナイトセッション、2 日目は入所と通園の 2 分科会にて実践報告やシンポジウムを行います。

8 月上旬に要綱・参加申込書等の全国発送をいたしますが、地元開催の大会成功の為、兵庫からも種別を越えた参加協力をお願いします。

編集 後記

梅雨明けが待たれる 7 月となり発行がすれ込んでしまいましたが、ひょうご県知協 NEWS 「第 75 号」をお届けいたします。本号では、昨年度実施した新体系移行アンケートの結果を掲載しました。移行リミットに向けた会員施設の動向が見て取れると思います。ところで、5 月は年次総会や第 5 回のじぎくスポーツ大会やらで本当に息つく間もありませんでした。「触法」冊子の編集にも目処が付き、これから総会承認を受けた今期事業、とりわけ法人化への準備に取り掛かりますのでよろしくご支援ください。（協会事務局：G.K）